

令和3年度 秋季特別展

## みちのく 武士が愛した絵画展 報道内覧会

武芸に秀でた集団として成立した「武士」たちが、絵画を愛で、ときに自ら描く行為は、すぐにイメージが結びつかない方もいるかもしれません。しかし彼らの周りには、ある時は居住空間や儀礼の場を為政者として相応しく彩るものとして、またある時は家の由緒・系譜を示すものとして、またある時は昔の戦を知り、学ぶものとして、武士の職能や生活上の必要性からも多くの絵画の存在がありました。泰平の世となった近世、軍事（「武」）のみならず政治（「文」）の中樞を担う存在として「文武両道」を求められた武士たちは、武芸だけでなく学問に励み、為政者の嗜みとして歌道や茶道など様々な芸を身に付けました。また、画技に優れた絵師を抱え、自らも描くことで、文化創造の貢献者としての側面も持ちました。

本展では、みちのくの武士たちが愛で、自ら描いた絵画を紹介してその魅力に触れつつ、武士たちにとって絵画はどのような存在であったのかを探ります。

記

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

- 発熱、咳、くしゃみなどの風邪の症状のある方、体調の優れない方は、来館を御遠慮ください。
- マスク着用、手指の消毒、入場の際の検温等の感染症対策に御協力をお願いします。
- 展示会場では、お互いの距離を十分に保ち、会話は控えめにお願いいたします。

※ 展示室の取材及び撮影は、三密を避けるため、一報道機関毎に順番に御案内いたしますので、エントランスでお待ちいただく場合があります。

### 2 報道関係者等を対象とした内覧会

- (1) 日 時 令和3年10月8日(金)午前10時から(受付：午前9時55分から)
- (2) 集合場所 東北歴史博物館1階エントランスホール
- (3) その他 当館学芸員が展示の見どころ等を御案内します。

### 3 特別展「みちのく 武士が愛した絵画」

- (1) 会 期 令和3年10月9日(土)～12月5日(日) 開館日数50日間
- (2) 会 場 東北歴史博物館 特別展示室
- (3) 主 催 東北歴史博物館 NHK仙台放送局、河北新報社
- (4) 後 援 多賀城市、多賀城市教育委員会、多賀城市観光協会、多賀城・七ヶ浜商工会、

仙台放送、ミヤギテレビ、TBC 東北放送、KHB 東日本放送、エフエム仙台、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、宮城ケーブルテレビ株式会社

#### (5) 展示概要

##### 第1章 武家の肖像 —先祖のすがた—

家の正当性や系譜を物語るものとして重要な役割を果たした肖像画について、近世の武家との関わりを考えます。

##### 第2章 伊達者（だてもの）の愛した絵画

伊達政宗の愛した絵画を初め、仙台藩の歴代藩主が描かせ、時に自ら描いた絵画を紹介します。

##### 第3章 新たな絵画へのまなざし —秋田蘭画を中心に—

博物学の流行によって注目され、広がった南蘋派（なんぴんは）の画風や秋田藩の小田野直武によって確立した「秋田蘭画」によって、18世紀に生まれた新たな絵画への動きを紹介します。

- (6) 参考URL：<https://www.thm.pref.miyagi.jp/exhibition/5627/>